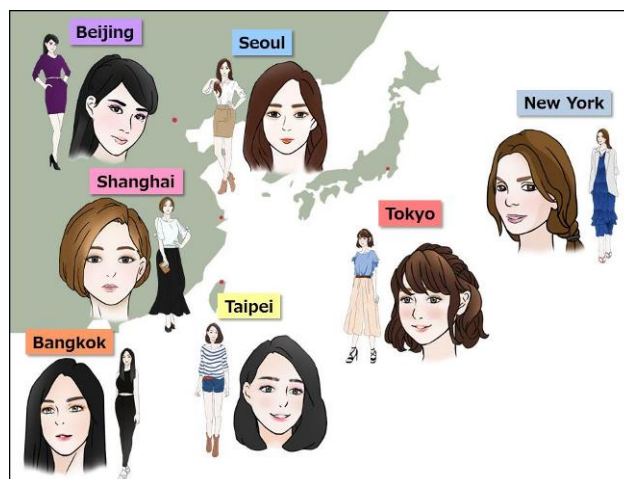


2017年10月17日

女性の生活や仕事への意識が、メイク表現にも影響を与える ～カネボウ化粧品が東アジアを中心とした7都市の女性のライフスタイル調査を実施～

株式会社カネボウ化粧品

カネボウ化粧品では、東アジアを中心とした7都市で「女性のライフスタイル調査」を実施しました。これにより、各国・地域それぞれの女性を取り巻く環境、社会的な立場やライフスタイルの違いが、メイク意識や表現にどのような影響を与えているかを確認しました。さらには、メイク意識や表現が違っていても、それぞれの表現方法でそれぞれにメイクを楽しんでいることがわかりました。



近年のインターネット・SNSの普及により、世界中のどこにいても同質な情報が得られる時代になりました。しかし、そのような中であっても、女性達のメイク表現は、国や地域によっていまだに明確な特徴を持っているように見受けられます。

たとえば、日本と韓国は、コスメ大国としてアジア地域に大きな影響を与えていますが、隣国同士であるにもかかわらず、そのメイク表現は大きく異なっています。そこでカネボウ化粧品は、東京、北京、上海、台北、バンコク、ソウル、ニューヨーク（NY）の18～34歳の女性、計1,219名を対象としたインターネット調査を実施。その調査結果から、以下のような考察をまとめました。

<調査概要>

調査手法：インターネット調査 2016年10月実施（一部2016年12月に追加調査実施）

調査対象：東京、北京、上海、台北、バンコク、ソウル、ニューヨーク（NY）の18～34歳の女性各149～155名（東京のみ307名） 計1,219名

主な調査項目：社会の中での女性 / なりたい人物像 / メイクの実態

<調査結果（メイクの実態）>

- ◆ソウルの女性は7都市で最もメイクに時間をかけ、また使用アイテム数も最も多くなっています。東京の女性は、アイテム数は多いものの、かける時間は最も少なくなっています。
- ◆最もメイクに力を入れるタイミングは、バンコク・北京は「仕事に行くとき」、ソウルは「デートのとき」。東京の女性は「同性の友人と遊びに行くとき」が他都市より高くなっています。
- ◆プライベートではすべての都市で、7割以上の女性が楽しんでメイクをしています。一




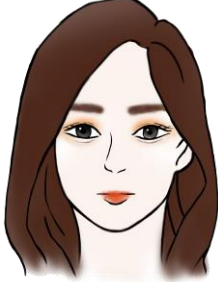




方、仕事では、プライベートと比較して楽しみ度合いは低くなり、東京・ソウルは特に低くなっています。

◆メイクをする意味は、ソウル以外の都市は、「身だしなみのため」が一番に挙げられています。ソウルの女性は他都市とは違い「欠点カバー」「自己表現」のためにメイクをしています。また、北京・上海・バンコクの女性も、2番目には、「自己表現」を挙げています。東京の女性は「おしゃれを楽しむ」ため、NYの女性は「女性であることを楽しむ」ためにもメイクをしています。

◆各都市の女性像（イメージ）◆

※あくまでも調査結果をベースに、各都市の女性像や特徴あるメイクの一例を示しています。

		メイクの特徴
東京	 <p>【人との調和を求め、温厚】 職場ではキャリアアップよりも人間関係重視。<u>同性の友人が大切</u>。 生活満足度は低め。興味があるのは「<u>自分の将来</u>」。 になりたい女性像は「<u>気ばりができる</u>」「<u>明るい</u>」等、 人との調和が取れる人。 になりたい印象は「<u>上品</u>」「<u>かわいい</u>」。</p>	 <p>チーク・アイメイクが濃いめ。 バランスを取るため、口もとはグロスでツヤを出す。 メイクをおしゃれとして楽しんでいるが、オン・オフでメイクを変えない。</p>
北京	 <p>【美への意識が高く、個性的】 家族、特に親がとても大切。美容に時間をかける。 <u>自己表現や美しさの追求のためにメイクをする</u>。 センスが良く、<u>仕事ができる女性</u>を目指す。 になりたい印象は「<u>エレガント</u>」「<u>フェミニン</u>」。</p>	 <p>とにかく美しさを追求し、特にベースメイクに注力するが、ナチュラルメイクを好む。上海や他のアジアの都市よりも、青みのある華やかな色味を使う。</p>
上海	 <p>【社交的で、積極的。楽しいことが好き】 家族、特に親がとても大切。 美しさ、センスの良さのある<u>積極的で楽しい人</u>になりたい。そのため、見た目も大切。 仕事で重視しているのは「<u>福利厚生</u>」。 になりたい印象は「<u>エレガント</u>」「<u>健康的</u>」。</p>	 <p>ナチュラルメイクを好む。ポイントメイクよりベースメイクに注力。ベージュやローズピンクなど、北京よりも優しい色味を使う。</p>

<p>台北</p>	 <p>【自己研鑽意識が高く、文武両道を目指す】 <u>仕事に対しては、収入よりもやりがいを求め、積極的。</u> 今後増やしていきたい時間は「スポーツ」「勉強」。 <u>頭が良いこと、手際が良いことも大切。</u> なりたい印象は「知的」「フェミニン」。</p>	 <p>ナチュラルメイクが好みで、使用化粧品は少なめ。ベースメイク・アイブローが大事。メイクにはリフレッシュの意味合いも。</p>
<p>ソウル</p>	 <p>【完璧な美を求める頑張り屋】 生活満足度は低め。興味があるのは「自分の将来」。キャリアアップ志向が強い。 <u>家族も友人も自分も大事。</u> 競争社会の中で生き抜くため、<u>キャリアや外見を磨くことに積極的。</u> なりたい印象は「洗練」「上品」。</p>	 <p>欠点をカバーし、自分の魅力を表現。メイクには時間をかけ、多くのアイテムを駆使する。アイライン、口もとを強調したメイク。リップはデートの時にカラーを変化させる。チークはあまり使わない。</p>
<p>バンコク</p>	 <p>【プライベートも仕事も充実して、前向き】 生活満足度が高い。男女の不平等感も低く、<u>大切な家族との時間もある。</u> <u>仕事もとても大事。収入ややりがいを求めて積極的に取り組んでいる。</u> なりたい印象は「知的」「かわいい」。</p>	 <p>ファンデーション・眉・口紅重視。 ナチュラルメイクが好みだが、コントロールカラーを使用したり、アイシャドウやリップでカラーメイクを楽しんでいる。</p>
<p>ニューヨーク</p>	 <p>【ユーモアが大切。充実したライフスタイル】 ライフスタイルを楽しみ、ワークライフバランスが取れ、自立した女性を目指す。健康志向も高い。 個人の趣味や恋愛、ファッションを楽しみ、<u>パートナーとの時間を大切にする。</u> なりたい印象は「やさしい」「健康的」。</p>	 <p>ファッションとして、様々な魅力を演出するためにメイクをしている。骨格を活かした目もとメイクが得意。 ベースメイクはさほど重要ではなく、マスカラ・アイライナー・口紅が大事。</p>